

マレーシア 活動記録

記録日：平成 28 年 3 月 4 日

記録者：谷澤 希予

I. 活動時間

8:30 ダニエルさんとバスにて出発

11:00 Melaka 到着

チャンさんの家

11:50 青雲亭

12:30 サンフランシスコ・ザビエル教会

成功の時計台

12:40 Christ church Melaka 教会

13:00 Malacca 木

センターポール教会

13:20 ポルタ・デ・サンティアゴ

13:40 昼食

14:30 バス乗車

16:45 帰宅

II. 活動内容

5 日目の今日はマラッカ観光を行った。Hotel sentral PUDU からマラッカまで約 143km 離れており、2 時間以上かけてバスで行った。マラッカの第一印象は、マレーシアをあまり感じられない町だと思った。町の中は赤色の壁ばかりで、教会や郵便局、時計台などあらゆる建物の壁が赤色であった。これはイギリスの植民地時代にされたものであり、赤壁の理由として、イギリスの植民地である象徴、ビンローという果実（たばこのような食べ物）を食べると口の中や唾液が赤くなり、これを壁に吐くことにより汚れないようにしたという理由などがあった。またマラッカは多くの国の植民地とされてきた。そのため、建物のつくりはマレーシア式なのに、床の柄がポルトガルであったり、中国人とインド人がマレーシアに移住してきたため、マレーシアではチャーハンとカレーの両方が主流であったりと、様々な人種の人がいて、様々なイスラム教、仏教、ヒンドゥー教、キリスト教など多くの宗教があり、これらがうまく共存してお互いのいいところを残しつつも協調しあっている所に感動した。

